

広島市立舟入高等学校
国際コミュニケーションコース
修学旅行



2022年10月2日～9日

オーストラリア・パースへ7日間の日程で、本校国際コミュニケーションコースの2学年の修学旅行が行われました。SDGs「持続可能な開発目標」の学習テーマに沿った修学旅行であり、とても実りあるものとなりました。

10月2,3日(日,月) 修学旅行 1,2日目



広島駅～成田空港

広島駅に15時に集合した後、保護者の皆様や先生方に見送られて広島空港へと向かいました。移動の車内では「飛行機だ!」という無邪気な声を聞くこともでき、これから始まる修学旅行に心を躍らせているようでした。

ここからはとても長い道りで広島空港から羽田空港、そして国際線への搭乗・・・と、とにかく移動の多い1日となりました。移動続きで、とても疲れが溜まった1日でしたが、生徒の表情はとても生き生きしていました。

シドニー空港～パース到着

現地時間15時にパースに到着しました。パース空港では、Mr.HutchinsonをはじめGOLD EDUCATIONAL TOURSの方々が出迎えてくださり、生徒は無事に着いたことを実感していました。その後バスでパースの市街地を移動し、そこから5分ほどのキングスパーク&ボタニックガーデンに向かいました。とても綺麗なワイルドフラワーや展望台からの景色、芝生の上で仕事帰りにくつろぐ方々など、日本ではなかなか見られない光景を体感することができました。



GOLD EDUCATIONAL TOURS の皆様のお出迎え

パース市内を一望できるキングスパーク



10月4日(火) 修学旅行3日目

カーティン工科大学 (STEM プログラム) ～アクティビティ



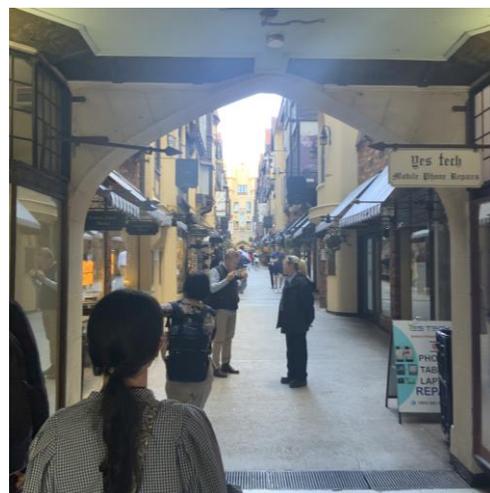
修学旅行3日目は、朝食を終えた後カーティン工科大学を訪問しました。とても広いキャンパスには、銀行や美容室、託児所などがあり、まるで一つの街のようでした。生徒も広く美しいキャンパスに目を輝かせていました。



この日のプログラムは2グループに分かれて行いました。1つのグループはSTEM教育と呼ばれるプログラムを受けました。このプログラムではいくつかのグループに分かれて、「貧困層の方々が暮らす水上のプラットフォームを仲間と協力して作成する」というものでした。ただし、金額の制限があるため、生徒は安価で丈夫なプラットフォームを作成しようと、何度も作り直していました。最終的には全てのグループで、各自が1番最初に作成したものよりも、丈夫なものを作成することができ、教授にもお褒めの言葉をいただきました。もう一つのグループでは、大学生がキャンパスを案内してくださり、大学生に質問するなどしてタスクをこなしていました。見ず知らずの大学生に話しかけるのはとても緊張していたようですが、持ち前の英語力で乗り切っていたようです。カーティン工科大学でのアクティビティは非常に活動的で、2時間ずつの活動でしたが、あっという間に時間が過ぎていきました。



その後、夕食までの間にパースの街中を散策し、生徒は思い思いに買い物や観光を楽しんでいました。特に人気だったのはサングラスだったようです。夕食は、特大のチーズバーガーとチップス（フライドポテト）をいただきました。非常に大きなチーズバーガーでしたが、一日中動き回った後だったので、ほとんどの生徒がペロリと完食していました。



10月5日(水) 修学旅行4日目

ロットネスト島

修学旅行4日目は、朝6:00に起床しロットネスト島に向かいました。この島には「世界一幸福な動物」と呼ばれるクオッカと呼ばれる動物が生息し、とても可愛らしい姿が見られる島として有名です。島まではフェリーに30分ほど揺られながら向かったのですが、船内ではとても強い揺れのために気分が悪くなる生徒も多く、幸先の良い出発とは言えませんでした。しかし、いざ島に到着すると、綺麗な空や海、可愛らしい動物たちに迎えられ、気分も晴れやかになりました。当日は90%の雨予報で、教員・生徒ともども心配していましたが、通り雨程度で済み、大きな影響はありませんでした。島では、島内一周のバスツアーや、カーティン大学生とのアクティビティなどを行い、オーストラリアの自然保護の姿勢や考え方について深く学ぶことができました。生徒たちは一日中歩き回ったため、帰りのフェリーやバスの中ではウトウトしている生徒も多く見られました。毎日多くの活動がある中でよく頑張っていました。

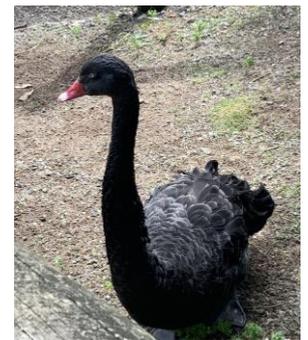


10月6日(木) 修学旅行5日目



カバシャムワイルドライフパーク～自由研修

修学旅行5日目は、パース市内から少し移動して「カバシャムワイルドライフパーク」を散策しました。この野生動物公園には、カンガルーやコアラはもちろんのこと、蛇やトカゲなどの爬虫類、ウォンバットなどの日本ではなかなか見ることのできない動物などを見ることができました。中にはコアラを抱っこしていた生徒もいました。日本では見たり触れたりすることのできない動物たちを見ることができて、オーストラリアの自然の豊かさを感じていました。その後は自主研修となり、生徒は各自が西オーストラリアに関する課題を設定し、それを解決するための場所に向かうことになりました。例えば「アボリジニの生活」を課題としていたグループは、西オーストラリア博物館へと足を運び、アボリジニに関する歴史や文化などを学んでいました。また夕食までの時間では、ロンドンコートやキングスリーなどで思い思いの買い物をして楽しみました。そしてこの日の夕食では、シーザーサラダをいただいた後、この日が誕生日の生徒にサプライズで歌とケーキのプレゼントがありました。本人もとても喜んでいる様子で、会場全体が幸せな雰囲気でした。



10月7日(金) 修学旅行6日目



フリーマントル

フリーマントルでは、アメージングレースというアクティビティを行い、現地の大学生や高校生14名がサポーターとして参加してくれました。いくつかの課題を与えられた生徒たちは、ゴールする速さと課題の正答率を競い合いました。さらに1位のグループには景品も用意していただきました。本校の生徒たちは5~6人1組となり、2名のサポーターがそれぞれのグループに加わり、フリーマントルの街中を巡りました。フリーマントルは過去に罪人が送られてきた街でもあったため、街中には処刑場があったりするなど、生徒たちは日本ではなかなか見ることのできない光景を見ることができました。そして全員がゴールした



後、1位のチームにはウォンバットのぬいぐるみなどが贈られました。

その後は、近くのレストランにてフリーマントル名物のフィッシュアンドチップスをいただきました。港町というだけあって、白身魚はぷっくら、ポテトはほくほくとした食感で、生徒はぺろりと平らげていました。午後からはフリーマントルを自由散策しました。オーストラリア最終日ということもあってか、生徒はフリーマントルの観光地やショッピングモールなどで時間を過ごし、最後のオーストラリアを楽しんでいました。



10月8,9(火) 修学旅行7,8日目

パース空港～広島駅

最終日は、いつもよりもゆったりと朝ご飯をいただき、その後部屋で最後までパッキングを行っている生徒もいました。帰りのバスや空港には、修学旅行にお世話になった Mr.Hutchinsonをはじめ GOLD EDUCATIONAL TOURS のコーディネータの皆さんが見送りに来られ、生徒たちは元気よく手を振っていました。しかし生徒たちも修学旅行が終わることを感じたのか、少しだけ寂しそうな表情をしていたように見受けられました。そして約 24 時間かけて広島に戻り、無事に修学旅行の全日程を終了することができました。



修学旅行を振り返って・・・

生徒の皆さんお疲れさま。保護者の皆様ありがとうございました。この修学旅行を通じて、まずは全員が大きな事故やけがもなく無事に帰ってこられたことをうれしく思います。また、生徒は様々な国際的知識・考え方・文化の違いなどを感じてくれたと思います。このような経験は、彼らの中で良い思い出として残るだけではなく、これからの将来決定に大きな影響を与えてくれるものだと信じています。Yes, of course!

